

## プランターで家庭菜園

### おすすめ野菜② ～小型ダイコン～



○種まき適期：4月中旬～5月中旬

○収穫時期：6月下旬～7月（種まきから60～100日ほど）

☞おすすめはプランターでも栽培しやすい、短形のダイコン「三太郎」。

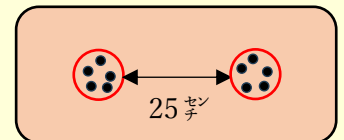
#### 【必要なもの】

- ・ダイコンの種
- ・プランター：縦30センチ×幅60センチ×深さ30センチ程度のもの
- ・培養土：基本的な肥料分が入っている、野菜用の培養土が最適（おすすめは広報誌5ページ）。
- ・その他：鉢底石、スコップ、ジョウロ、肥料（おすすめは広報誌5ページ）など。

【栽培方法】 ※栽培適所：日当たりと風通しが良い、軒下やベランダの屋根下など

#### 1. 種まき

プランターの底が見えなくなる程度に鉢底石を敷き、プランターの縁から5センチ程下まで培養土を入れます。25センチほど間隔を開けて深さ1～2センチの穴を2か所作り、1穴につきダイコンの種を5粒ほどまきます。土をかぶせて手で軽く押さえてから、たっぷり水を与えます。



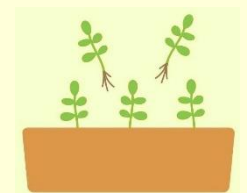
#### 2. 栽培管理

##### ①間引き

株の日当たりや風通しを良くするため、重なりあった株を取り除く「間引き」を2回行います。1回目は本葉が2枚出たところに元気な3株を残して間引きます。2回目は本葉が5～6枚なったところに元気な1本を残して残りを間引きます。

##### ②水やり

土の表面が乾いたら、底穴から水が流れ出るまでジョウロでたっぷり水やりします（夏場は1日2回程度）。



##### ③追肥

2回目の間引きの後と、根の白い部分が土から見え始めたところに化成肥料（追肥）を1回10グラム程与えます。株元から少し離れた場所で土と混ぜ、株元へ土寄せします（肥料袋に記載の使用法を守る）。

#### 3. 収穫

ダイコンの葉が下へ垂れ、根が地上にせり上がってきたら収穫タイミングです。株元をしっかりとつかんで、真上に引き抜きます。

※収穫が遅れると根が割れたり、中にスが入ってかたくなるので注意。